

開催日時	令和5年11月17日(金) 19時00分～21時00分
開催場所	web
出席者	間瀬、山本、小森、小山、木澤、永嶋、正木、山口、伊藤、井貫、桑山、成田、岩田、中谷、熊谷、藤、有吉、樋笠、水田、中川、岩井、鮫島
欠席者	
記録者	中川
議題1	会長報告
【内容】	<p>会長行動録(主なもの) 財務審議会が3回終わった。 11月4日 循環器コース懇親会出席。受講生は満足だった様子。 高橋参議院議員が出席してくださり、今回の活動に関する支援をお願いした。 あと代謝コースが残っているが、それが終わればアンケートを取って結果を報告していきたい。 11月5日 自民党国政報告会出席。 自民党国政報告会に出席した。3議員と直接お話しすることができた。 公立病院の調査の結果が出来れば議員に報告しに行く予定。</p>
議題2	2024年財務審議会からの報告(答申)
【内容】	<p>・財務審議会の役割は 決算状況を元にした費用対効果の検証 事業計画、財務状況に基づいた予算配分の検討 会費額の検討 など。 予算編成方針(案) 会費収入と現行会費の8割で算出した事務局が提示する。 2023年度収入予測額の予算を考える。 各部、委員会は2022, 2023年度の実績から予算を作成する。 予算執行率が低い部署は2023年予算の80%を考慮(理学療法講習部などはがんりハが出来ていないので莫大に余っているのでそういう場合) 新規事業に関しては考慮する。 研修会の充実と積極的な活用。 年間の研修を統括する機能の設置。 県外会員、非会員からの参加料収入を積極的に取り組む。 参加料の収入目標設定も考えていく。 基本的な理学療法に関する研修(登録理学療法士の更新の補完的な事業を考える)。 実技研修の回数を増加する。 上記内容をふまえたフォーマットの作成・提示。 広報・DXの充実に向けた必要経費を盛り込む。</p> <p>2023年度予算は基本的理学療法に関する研修会の実施を盛り込む(理学療法講習部もしくは生涯学術部?)</p> <p>本年度から来年度前期までに研修活動を統括する部門案を検討(学術局) 2025年度研修事業は統括部門案を参考に各部門が研修会を実施する 研修会增加に伴う予算増は研修会収入により賄う</p> <p>目的は会費負担の削減。 総会で会費及び予算方針を説明。</p> <p>研修統括部門で調整するもので、ここでしか研修会の内容を決められないというわけではない。 来年度一年で検証して2025年度でその結果の会費変更案を提出し、2026年度で新会費を実施する。</p>

収支の説明:

来年度8割と考へ、8000円とすると、6823万円の収益の予想になる。約1000万円の収益の減額になる。

各部予算を2022、2023年度の高い方を基準にして8割がけを上限に考えてください。

参加費を集めている部は基準額+収益額で考える。

委託事業は額が決まっているのでそのまま。

近畿学会の負担金もそのまま固定。

統一のフォーマットを作成する。

【質疑】

各部に説明する仕方として、予算額がオーバーすることは補正予算で何とかするのでという説明で大丈夫でしょうか。

→コロナ明けなので8割が難しいところもあると思うが、最終的に何かかかったときは補正する。

新規事業をするのに躊躇すると思うが、積極的にするのか、必要であればするでいいのか。

→これというものは、行ってもらおう。

県士会会員のために県士会費は使うということでしたが、積極的に県士会外もということではいいか。

→webの場合ほとんど入れていってもらえればありがたい。

支部の方の研修会でも参加者が増えているようです。有料になった場合どうなるかは分からない。

webでも500人を上限にしていると300名くらいがすぐに県外で埋まる。

→ZOOMの契約を1000人に増やすなど、来年度は試験的な年なので検討する。

8割にすると事業を減らす部署が出てくると思うが、昨年予算が余った理由に会議に欠席する人がいるというのが多かった。そのあたり、どのように予算立てするのか。

→会議費はそれでくらいしか参加していないのなら、その実態で出してほしい。

啓発部は事業を削減してきたが、対面を増やしたいと思っているが、

部員を辞めないといけなと思わないかなと思う。

→各部を見れるわけではないが、この事業はいつも上がっているが不要ないなとかというものを考えてほしいということ。

啓発部はコロナで無理なのは理解している

支部は対面を増やそうとかという方向性は考えているのか。

→一般的な座学はwebが原則と考えている。

支部としてということでは全体でどうかということかと考えていきたい。

コミュニティを高めるための一手段と考えているのでそれは別に考えている。

議題3 事務職員採用応募者面接について

5名中3名が2次面接を行った。面接チェック表の点数上位者1名が決定した。

今度の流れとしては採用通知をだして、準備作業を進めていきたい。

議題4 審議事項: 新人発表時での理事の配置

・会長の動画+伝えたいことを言ってもらえればと思います。

担当理事は直接支部と連絡を取ってください。

淡路は対面での開催だが、挨拶はwebで大丈夫です。

議題5 協議事項: 講師料など支給規則・活動手当の算定について

マルチモビディティなどグループワークの講師などが実態に合っていない。

実技の場合、複数人で行うと上限基準額を超えないことになっている。

100名の参加者で10グループあると少額になってしまう。

研修会運営手当3000円(当日運営部会をしても同じになっているので、そこも考えていきたい。

【決定事項】

会議費は会議の時間で区切って決定する。

講師料は、教授クラスというようなものではなくて、認定や登録理学療法のインセンティブのことも考えて議論してもらえればと思う。

などの案が挙げた。

改定案を作成する運営審議会を設ける。各局1名+事務局長。

議題6 協議事項: 日本理学療法士協会との意見交換会について

検討事項について意見を頂きたい。

拡大三役会では以下のようなものが挙げた:

<p>会費一万円を下げることはできないか。 人材育成はどうなっているか。 事務機能はどうなっているか。事務のスタンダードが出来ないのか。 SNSのガイドラインはないのか。、 認定、専門のアピールができないのか。</p>	
<p>【決定事項】ラインワークスでグループを作成してそこに挙げる。</p>	
議題7	報告事項: 12月拡大理事会、三役会について
<p>12月15日に拡大理事会を開催。 理事会は緊急で審議したいことがあれば拡大理事会後にします。 拡大三役会はその前日に行う。 今回は局別会議はしない。</p>	
議題8	その他、報告事項
<p>・代議員・理事の懇話会の報告。 11名の代議員に参加してもらった。 運営の見えるかと情報公開について。 若いPTの県士会への関心について(これについてが一番多かった)。 理学療法士としての総合力を高める取り組みについて。 社会貢献事業の再検討。 リモート研修と対面研修のバランス。 協会の認定制度への疑問。 情報発信力の強化。 士会運営について。</p> <p>県士会に何か言いたいという人もいました。 若い理学療法士に対する心配事、専門職に対するモチベーションが低いのではない かという意見もありました。 来年度以降の代議員と理事会の連絡会をどうするかということ位置づけているので 次回はその方向で行きたいと思います。 印象としては参加者は積極的な人が多かったなと思った。 方向性は同じ方向を向いていてよかったというのが率直な印象だった。</p> <p>・兵庫県プライマリケア協議会摂食・嚥下障害班委員の後任は桑山理事にお願いす ることになりました。</p> <p>・学校保健の報告 10月19日 段上西小学校1年4クラス 正しい姿勢、正しい歩行とランドセルの背負い方 2年間行ってみて、普段低学年児童に対していないので、知識と技術の向上が必要と 思っている。</p> <p>・第35回県学会準備員会 委託会社 メディアレフに決定した。 学会HPはメディペに決定した。 趣意書に関して審議会内では大きな修正は必要ないと判断され、決定。</p> <p>・理学療法士の未来へ向けて齊藤協会長と話そう。 1月21日(日)神戸市産業振興センター グループワークを考えている。 アーカイヴは今のところは考えていないが、考えたい。 当日のライブは考えている。</p>	
次回の予定	日時: 令和5年12月15日(金)
日時・場所	場所: web
今後の予定	12月15日は拡大理事会となります(議題7参照)。